

# 日本アニメーション史Ⅰ

科目ナンバリング ARL-207  
選択 2単位

萩原 由加里

## 1. 授業の概要(ねらい)

日本アニメーションの歴史について、制作者と作品、そして受け手の時代による変化を取り上げていきます。スタートから終戦までの半世紀に渡る道筋を見ていくことで、現代の日本アニメーションがいかにして形成されていったのかを知るだけでなく、そしてこれからの時代にアニメーションはどうなっていくのかを考えていきます。

## 2. 授業の到達目標

1. どのようにして作品が作られたのかを考えていくことで、日本の社会や文化のあり方を考える。
2. これからの日本アニメーションの現場においてはどのような作品が求められるのか、日本アニメーションの将来を考えられるようにする。

## 3. 成績評価の方法および基準

試験60%、平常点(小レポート)40%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

教科書:なし

参考文献

津堅信之 『アニメーション学入門』(2017) 平凡社

## 5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる時代とテーマを紹介するので、その時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べて、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

## 6. その他履修上の注意事項

積極的な質問を期待します。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 アニメーションとは？
- 【第2回】 アニメーションの誕生
- 【第3回】 日本へのアニメーションの伝来
- 【第4回】 弟子たちの時代
- 【第5回】 大藤信郎とレコード式トーキー
- 【第6回】 海外でのトーキー化
- 【第7回】 日本におけるトーキー化への挑戦
- 【第8回】 京都とアニメーション
- 【第9回】 1930年代の戦争とアニメーション
- 【第10回】 日米開戦とアニメーション
- 【第11回】 アメリカのプロパガンダ・アニメーション
- 【第12回】 終戦が日本アニメーションにもたらしたもの
- 【第13回】 こねこの系譜
- 【第14回】 東映動画の設立
- 【第15回】 日本アニメーションとは何だったのか？